

こんな活動です

「真玉きらきらコミュニティ」 -地域の“応援団”を味方にして-

活動名

関係する学校名

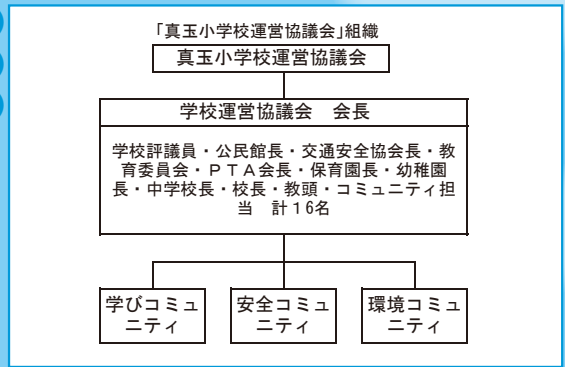
大分県豊後高田市

「真玉きらきらコミュニティ」
-地域の“応援団”を味方にして-

真玉小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 58人	学習支援 有	開始年度 20年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 50人	学習支援 有	開始年度 17年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	コミュニティ・スクール	指定日 平成26年4月1日					委員数 16人	児童生徒数 88人	学級数 7学級

体制図



活動の概要
 「真玉きらきらコミュニティ」は、平成26年度にコミュニティスクールとして指定を受け、地域を、強力な応援団にして活動を続けている。委員は、自治委員会代表、公民館長、交通安全協会分会長、読み聞かせの会代表、幼稚園長、保育園長、校区中学校長、保護者、市教委指導主事、校長、教頭、コミュニティ担当の16名で構成している。また、全体を次のように3つの部で構成している。
 「学びコミュニティ」・・・地域の方々のサポートにより、授業の質や学習への興味・関心を高めて学力向上をめざす
 「安全コミュニティ」・・・校区全体で、児童が安全に登下校できる安心な校区づくりをめざす
 「環境コミュニティ」・・・環境整備や美化活動を行い、潤いのある生活や教育環境づくりを行う
 ○それぞれの部で、地域の方や保護者、学校が、子供を育てる際の目標を持ち、活動に取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「学びコミュニティ」では、授業の中での学習サポーター、読み聞かせや夏季休業中の補充学習のサポーターなどで、多くの方が参加してくれている。特に、総合的な学習の時間には、地域を知り、地域を愛する子供を育てるために、児童が地域に出かけると共に、サポーターの方もたくさん来校して下さっている。1年間では、のべ200人ほどである。「安全コミュニティ」では、見守りのおかげで、児童が安心して登下校できている。さらに、「環境コミュニティ」では、「花いっぱい」の活動で、種まきを地域の方とし、苗を植えたプランターを地域の数力所に置いていただく活動もした。

○このように、地域と密着した活動で、理解と支援をいただいている。

【実施に当たっての工夫】

○活動の様子を、学校だよりを配布したり地域の各所に掲示したり、HPで地域の方にお知らせしたりしている。また、活動（学習）後には、お礼の手紙を差し上げたり学習のまとめを発表したりして、つながりを持つようにしている。

○月1回の学校公開日の案内を地域の方にも配布し、来校していただき、授業の中での子供の様子を参観してもらったり、学校の環境について意見をいただいたりして、日頃から、つながりをもつようにしている。

○地域支援本部のコーディネーターと連携・協働し、サポーター登録の状況について、連絡を取り合うようにしている。



育てた花を地域に

● 事業を実施しての効果・成果

○体験活動を通して、多くの地域の方との触れ合うことができ、地域の方の知恵や工夫、地域を愛する心に触れることができた。さらに、それらのお陰で、登下校の子供からの挨拶や声かけがスムーズにできるようになって、活動後のつながりができている。また、児童の学びが、地域の方々の喜びにもなっている。

○特に、総合的な学習の時間の「地域を知る活動」「真玉の名人探しの活動」は、探求的で活用力をつける内容になったために、県学力定着状況調査や全国学力・学習状況調査における活用の問題に対応する力の伸びがみえてきた。

○地域の方々は、子供たちを常に見守ってくださり、「学校の応援団」であることを再認識した。今後も、応援団を味方できるように連携・協働して取組を進めていきたい。

● その他

○夏季休業中の補充学習の際に、3年生以上に学習サポーターとして入ってもらっている。



夏休み中の補充学習